

直鎖状エチレン系アイオノマー

開発ステージ

構想・探索

開発中

開発完了

製品化完了

キーワード

長寿命化

減量化

フードロス削減

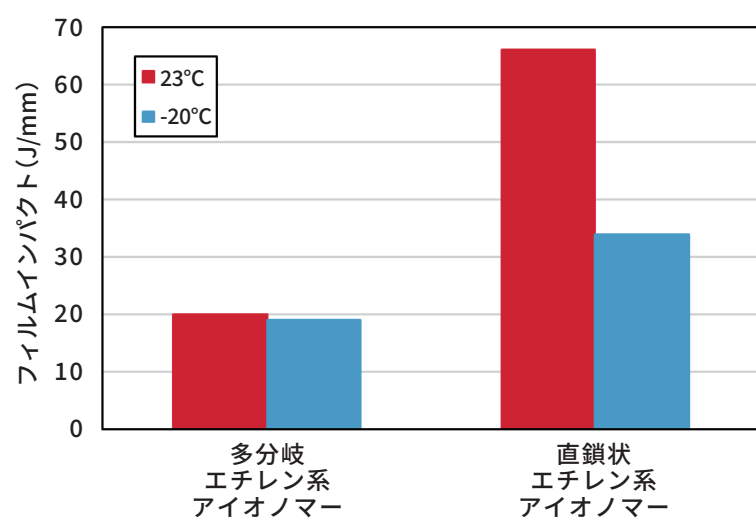
用途

包装用途 / 成形品用途 / 樹脂改質剤 / 水分散体

背景

- 従来のアイオノマーは、高温調理工程や冷凍流通に対応するには十分な耐熱性や低温衝撃性を備えておらず、適用範囲に限界があった
- 分子構造を工夫することで、耐熱性や強靱さが向上し、高温調理や加熱殺菌工程に耐え冷凍流通でも割れにくいパッケージとして、新たな価値を提供

衝撃強度



透明性

項目	直鎖状エチレン系アイオノマー	多分岐エチレン系アイオノマー
外観	Japan Polyethylene 2-3-2, Yako, Kaw	Japan Polyethylene 2-3-2, Yako, Kaw
ヘイズ (曇り度)	0.2	5.9

単層インフレーションフィルム (30 μm 厚) での比較

高機能化による価値提案

スキンパックへの適用

長寿命化

耐久性

外観向上

透明性

減量化

高強度

フードロス削減に貢献

お問い合わせ |  日本ポリエチレン株式会社